

TAJIMI TOHTO LC

明日に向かって

1995

第3号

発行日 平成7年2月10日
 発行 多治見陶都ライオンズクラブ
 責任者 松本暁一
 事務所 多治見市豊岡町3丁目29番地
 TEL<0572>25-8920
 FAX<0572>24-0778

半年間を振り返って

会長 尾 関 恵 一

私が会長となりましたから、早いものでもう半年が過ぎようとしています。

私の知る限りでは、クラブの運営は順調に推移しているものと思っています。

当初私は三つの目標を掲げました。その第1は「例会の充実と組織の再点検」でありました。「例会の充実」については、計画委員会を中心に非常に熱心に活動していただき、またテールツイスターの活躍もあり、楽しい例会となっているものと考えます。

私は例会に来て「楽しかった」だけでなく「有意義だった」と思えるようにしたいと思っていますが、この点についてあと半年の課題となっていると思います。「組織の再点検」については各副会長・理事の活躍により理事会と委員会の連携が十分に出来るようになったと思います。先日開催しました各委員長と執行部と懇談会である「委員長会議」も有意義なものであったと考えます。また、幹事が頑張って組織図を完成させてくれたことも今後のクラブの運営上大切なことだと思っています。

目標の第2は「保健・環境問題への取り組み」でありましたが、先年度の「感想文募集」を継続したいとお願いしたところ、保健・環境保全委員会の努力により参加校も5校に増え、募原稿も217通に達して益々充実している様であ

り、嬉しい限りであります。地道な努力がきっと立派な花を咲かせてくれるものと信じています。植樹祭において植木を50本寄付させていただいて、ボーイスカウトの少年達と一緒に植樹したことも今年の新しい事業ではありましたが印象的なものであります。

目標の第3は「教育福祉活動の発展」でありました。これも社会福祉委員会の活躍により、先年度と同様に「さわらび学級」へ、テレビ・ビデオを贈りました。非常に先生や子供達が喜んでくれたのが印象的でありました。また、現場の先生が非常に熱心に指導してみえて、全国的にもめずらしい程に充実しているものであるとの話を伺い、今後もこの活動を続ける必要性を痛感しました。また、この委員会は「皆出席生徒の表彰」なども計画してくれていますので楽しみにしています。

この他にも各委員会が努力をされてすばらしい活動が展開中であります。

半年間を振り返って見た訳ですが皆さんの叡知を集められ、社会奉仕の活動をされれば、まだまだ素晴らしい結果が得られると思いますので、よろしく御協力の程をお願いします。



ルワンダ義援金について

幹事 佐藤 宏

8月初旬テレビにて、ルワンダ難民の実体が報道されているのを見ました。食物も不足し病気に犯され餓死直前の人々。故里を捨て隣国のザイル、ザンビアへ国境を越えてなだれこんでいる様子です。ライオンズクラブの一員である私達として、何か出来る事はないかと考えました。丁度その時、加藤恵一ライオンより現在この地区にて、奉仕団体がこのルワンダ難民に対してまだ何も行動していないため、行動するなら早い方が良いとの伝言を聞き、すぐ会長、会計の三役にて打ち合わせし賛同を得ました。8月第1例会にて、会員の承認を得、9月第1例会のZC山田ライオンの来訪時のドネーションを加算し、121,000円也を9月16日、中日新聞多治見支局を訪問し贈呈しました。尾関会長の言葉に、地域社会へ目を向けると同時に大きな視野を持って、世界にも関心を持って行きたいと思えます。との言葉を私も賛同しています。ルワンダ義援金はキャビネットへアクティビティとして報告しました。多治見陶都ライオンズクラブは、創立二年半を経過しておりますが、一年に少なくとも一つ以上の新しい活動をする事によって、クラブの充実を計る前進的な考えが必要であると考えます。会員皆様の積極的なご協力をお願い致します。



例会の充実について

計画委員長 宮木 修

計画委員長を御引受して、大変楽しませて頂いております。今年度の計画委員会3人とも遊び好きですので、移動例会が多いにもかかわらず、多数出席をしていただき計画委員一同感謝しております。また副委員長 西尾達夫L、加藤和正Lの若い奇抜な計画など皆様に大変喜んでいただいていると信じております。本年度例会企画のねらいは、移動例会を多くし、いろんな場所で、いろんな人と話し、また酒をくみかわし相互理解をはかるとし、7回の移動例会を計画させて頂きました。

第1回 新年席例会 産業文化センター

第2回 納涼例会 浩養園とナゴヤ球場

第3回 月見例会 地球村バーベキュー

第4回 クリスマス例会 ベートーベン第九を聞いて
名古屋にてクリスマスパーティー

第5回 研修例会 北陸旅行の予定

第6回 花見例会 瑞浪花見予定

第7回 さよなら例会 ボーリング大会予定

以上計画をさせて頂きました。「第1回新年度例会」では尾関新会長を迎え陶都ライオンズ3年目の旅立ちとして、大変新鮮な例会が出来たと満足しております。

第2回納涼例会では浩養園で生ビールを飲み、ナゴヤ球場にて中日×広島戦を観戦しました。この納涼例会を会員の皆様方の子供達が例会を盛り上げてくれました。子供達に感謝感謝。尚、バスの車中のドネーションの発表大変面白かったです。テールツイスターの皆様、御苦勞様でした。そして第3回移動例会を地球村で行ないました。

地球村での理事会例会はどうでしたか。

例会後のハーベキューで楽しみましたが後片付けが大変でしたが若いクラブ会員の皆様が最後まで残って手伝って下さいました。

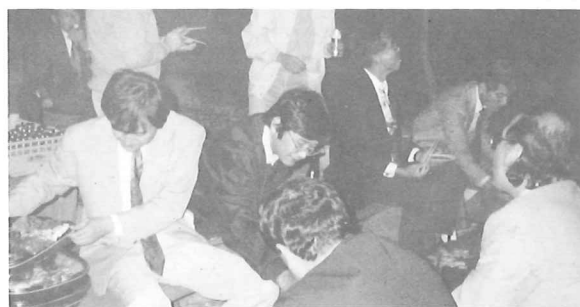
このように、移動例会を通じてクラブ会員間の相互理解が出来ていると感じました。そして12月のクリスマス例会、2月の研修例会、4月花見例会、6月さようなら例会と最初に計画した通り進めて行きますので皆様の御理解と多数の出席を御願い致します。

今後の例会ですが、ライオンズクラブ会員が毎年増えておりますので、あと10人多くなればバス1台での移動例会が出来なくなると思います(予算的にも)。移動例会が出来るのもここ1、2年がチャンスだと思いますので、御不満もあるでしょうが会員の皆様の親睦を大いに図っていただければ幸いです。

最後に一年前に会長予定者が決まるように、何の委員会も同じだと思いますが、一年前に計画委員会を御引受けることが出来れば前年度を参考にして、一年かけてじっくりと大変良い計画が出来るのではないかと思います。

ゾーンチャマンの言葉にもありました。

チェンジしてチャレンジ!



ゴルフ同好会便り

同好会委員 柴田 学

日頃はゴルフ同好会に何かと御協力御参加して頂きまして誠に有難うございます。

陶都LC発足依頼、逸早くゴルフ同好会が出来ました。早いもので既に13回のラウンドを致

しております。その中で数々のドラマチックな事が起こりました。何と云っても第1回目の出来事、スプリングフィールドGCのアウト7番ホールに於いて、丹羽輝男Lがホールインワンを見事達成されました。その快挙はまだ私たちの脳裏に焼き付いていることと思います。そしてその興奮がさめやらぬ今年の7月奇しくも同じ場所に於いて今度は、尾関会長がその栄光に輝かれ、そのホールインワン記念チャリティーコンペを開催いたしました。お陰様で特別養護老人ホーム「多治見陶生苑」へ車椅子五台を寄贈させて頂くことが出来ました。スプリングフィールドは何故か我々クラブに親しみと想いを作ってくれたゴルフ場でした。

わが同好会も今では総勢31名という多くの方が集い合う賑やかな同好会となりました。

10月26日 第2リジョン親睦ゴルフ大会

団体戦 3位入賞(花ノ木CC)

11月18日 第2ゾーンチャリティー親睦大会

団体戦 優勝(チェリークリーク)

と言う見事な栄誉に輝きました。

我々クラブもなかなかの腕自慢が揃っております。陶都LCを十分PR出来たのではないかと思います。



とにかくゴルフを通じて友情を深めて行くことは社会奉仕をして行く上にも大切な要素だと考えております。こういった親睦会の積み重ねが相互理解の一步一步につながって行く事と思います。

共通の趣味を持つ我々が楽しくプレーするためにゴルフワンポイントを掲げました。参考して下さい。

1. ナイスショットを打とうと思わない事。

2. 絶対に安全な方向に打って行く事。

チェックする事は、個々によっていろいろあると思いますが、誰でもゴルフする以上はスコアは気になると思います。数はどうでもいいからドラゴンを一発決めたいとか、OBでも良いから思い切り振り回したいとか思う方は別ですが、そうでない100を切りたい…今度こそ90を切って回りたいとか考える人は上記のことを守って下さい。そうすれば間違いなく100以上叩く人は100を切れます。いつも90台の人は80台で回ることができます。

最初のナイスショットを打たない と言うことはちょっと疑問に感じる方があると思います。打つ自信のある方はどうぞナイスショットをして下さい。でもゴルフはほとんどがミスショットです。ミスの連続です。そのミスをどうリカバーするか、どう精神的対処するかが大切です。ナイスショットは朝から晩までまる1日練習しているプロでもなかなか打てません。まして我々アマが打てる訳ありません。チョロでもゴロでもフックだろうがスライスだろうが気にしません。何でもいから前に飛ばばいいんです。とにかく前に進めば良し。そうして下さい。それだけで随分気持ちが楽になります(※ナイスショットのほとんどは間違っ打ったものです。)

2番目の絶対安全な方向は分かっているようで分かっていない方が多いと思います。自分自信に徹底して下さい。景色を見れば分かります。ティーグラウンドに立った第一打からホールアウトするまで、気を緩めずこの2つのことを守って下さい。そうすれば必ず10打は違うでしょう。今までとは違ったゴルフの楽しみが見付かると思います。

植樹祭に参加して

教育福祉委員長 丹羽輝男

今日我々の暮らしは、便利で豊かになりました。しかし社会経済の成長と共に、至る所で開発が進み自然破壊が行なわれてきました。その為に異常気象がおこり、各国で被害が出ています。又、地震などによる天災の被災者、内戦による難民も数多く出ている現状です。

陶都LCも、発足してはや3年になりました。各委員の方々も、それぞれの役割に勤めておられますが、私の担当である社会教育福祉委員では、今年度事業に青少年育成に協力する為の事業がありました。青少年育成に奉仕しておられる会員の方より、多治見ボーイスカウトの活動で、山々に緑を取り戻す1万本の植樹を目指している話を聞きましたので、樹木を贈呈することになりました。

10月16日、多治見市農林課の主催により、植樹祭が深山の森にて開催され、当クラブは50本の樹木を贈呈しました。式典後、植樹が始まり、当クラブから出席した会長、幹事、会計、私の4名で、それぞれ1本ずつ植えました。

当日の参加者は、ボーイスカウトを始め、各方面からの奉仕団体、そして地元の方々など50名余りで盛大に行なわれました。植樹の後には、婦人部奉仕の方々によって作られた豚汁で弁当をいただき、植樹祭を終えてきました。

ボーイスカウトの奉仕活動に援助協力したこ



とに対して、多治見陶都ライオンズクラブに感謝状を頂き、光栄であります。

社会教育福祉委員会の今年度事業計画も、一部がまだ残っておりますが、皆さんに役立ち感謝していただける事業になるよう、努めてまいりたいと思います。

尾関会長は、ご自分の趣味であるゴルフでホールインワンを達成されました。記念コンペの費用の中から、車椅子五台を特別養護老人ホーム「たじみ陶生苑」に贈られて、社会奉仕に力を注いでおられます。

今後、当クラブとして、アクティビティの言葉を忘れずに、地域社会に貢献していくと共に、友情を深めたいものです。

我がクラブの誇り

保健環境保全 委員長 正村克巳

私達陶都LCのライオンズマン中のライオンズマンを紹介します。

それは、中山秀司Lです。

彼はここ4年間、毎月1回、欠かさず献血を続けているのです。彼によりますと、かなり以前より不定期には献血をしていたそうですが、土岐市立総合病院で常時献血を受け付けるようになったのを知って、それ以来、毎月献血しているとのこと。この事を本人より聞いた時は、何と言葉を返していいのか見付かりませんでした。



今後も続けていきたいと彼は事もなげに言っています。我々全員で彼を応援していきたいと思えます。中山君、ガンバレ！そして我々も続こう

土岐市立総合病院内

血液センター東濃出張所

祝日を除く 火・水・木・土

9時30分～16時00分

ちなみに彼は今までに、バケツに1.5杯以上も血を提供しているのです。それも我々のようなアルコール、雑菌のまじった血でなく、ピュアな血をです。

第2回環境問題作文コンクールの募集を9月末にメ切。参加校5校214名の作文を受け取りました。その後、選考を重ねて、秀作14点を内定しました。以下の生徒達です。

笠原中の 原 穰 君、水野恵介 君、那須亜希子さん、高宮美香さん

小泉中の 横関真美さん、坂崎真理子さん

多治見中の 日比野昭子さん、則武理恵さん

南ヶ丘中の 徳田雄二 君、佐藤研滋 君、西山佳余 君

南姫中の 長谷川元子さん、長谷部弥生さん、長谷川恵理さん、

入選34名

前回同様、入賞作品の作品集の作成と入賞者の発表と表彰式を3月中をめどに行なえる様に準備をすすめています。

この様に多数の生徒さん達が環境問題に高い関心を持ち現在の状況を杞憂していることは我々も見習いたいところです。

この作品コンクールは 前年度委員長の伊藤孝司Lの発案ですすすめられた事業で、尾関会長もこの問題には非常に関心を持ってみえ今年も継続となり、今後も当クラブのメイン事業として続けていき、多治見市、笠原町の学校、その他から高い評価が得られる様に、積極的に進めていきたいと思っています。

阪神大震災の募金活動を行なう

阪神大震災の街頭募金活動を、多数の会員参加のもとで、2月4日(土)と2月5日(日)の両日、多治見駅前とパロー多治見店(北側、南側)の計3ヶ所で行ないました。尚、募金総額 ¥821,156を中日新聞 多治見支局 に持参致しました(募金者1623名)。

被災地の皆様の一日でも早い復興をお祈り申し上げます。



編集局便り

- 本会報発行にあたり、原稿作成にご協力をいただいたことに心から感謝とお礼を申し上げます。会員の皆様のアクティビティがあって始めて会報が発行できます。今後の会報充実のために一層のご協力を！もうすでに次号が気になります。
- 例会の充実ということで、本年度は移動例会に特徴があります。計画委員会の皆様ご苦勞様でした。印象深い例会の思い出が沢山できました。写真を見ると参加者の楽しそうな顔、顔!! こんな顔で仕事もできるといいね。
- 活動が盛んといえば、ゴルフ同好会。名手・柴田 学Lにゴルフ上達のノウハウをまとめてもらいました。芝生が緑になるまでに、しっかり頭にたたきこんでスコア・アップを！そしてドネーション・アップ!!